

「日大歯学」投稿の手引き

2011年（平成23年）3月

日 本 大 学 歯 学 会

日大歯学編集委員会

「日大歯学」投稿の手引き

日大歯学への投稿にあたっては本誌の投稿規定ならびにこの手引きにしたがう。

投稿論文の形式は表題、著者、所属、要旨、本文、謝辞、文献、図(写真)・表の説明文の順とし、図(写真)・表は別に
する。また、原稿とともに電子媒体(CD等)に保存し提出する(メールは不可)。

1. 表題

研究の主題は具体的かつ簡潔に表現する。

また、論文を数報に分けて発表するときは、その研究の主題の次に内容を具体的にあらわす副題を付ける。

英単語は固有名詞・略語等を除き、小文字で表記する。

2. 著者、所属

著者名の表記(旧字、異体字)は著者自身が指定する。また、著者の所属機関が異なる場合は氏名の右肩に数字を付
け、所属の左肩にも数字を付ける。

例) (1) 単著の場合

尾澤宏行

日本大学大学院歯学研究科歯科臨床系専攻

(指導：納村晋吉教授)

(2) 共著の場合

小宮山一雄¹，田中孝佳²，松田由起子²，鈴木 円²，高橋富久¹，和田博恵¹，波多野元恵¹，小島 章¹，
工藤逸郎²，茂呂 周¹

¹ 日本大学歯学部病理学教室，² 口腔外科学教室第1講座

注) 指導者が共著者に含まれない場合は(指導：)として別に表記することができる。

3. ランニングタイトル

表題を20字以内に要約する。

4. 要旨

研究の目的、方法、結果および結論を600字以内で簡潔に表現する。その研究の重要なポイントを盛り込む必要が
ある。なお、結論の繰返しとしないようにすること。

5. キーワード

研究の主題を的確に表現するキーワードを5個以内付与する。キーワードは効率的に情報が検索できるよう、漠然
とした用語は避ける。

例) エナメル質，咬合力，義歯床裏装法

6. 本文

1) 構成

本文は原則として緒言、材料および方法、結果、考察の順に記述し、付番はしない。各項目の中で付番する場合は
1, 1), (1), aの順とする。

緒言は研究の目的と意義を簡潔に記述する。

材料および方法は研究に用いた材料、方法、手順を詳細に記述する。使用した薬物および器材は製造会社名、形式
等を補記する。

結果は図表を含めてわかりやすく示し、使用する図表は必要最小限にとどめる。

考察は研究から得られた結果を検討し、新知見、問題点、今後への展開などを明解に述べる。

2) 表記

本文はひらがなまじりの口語文章体(いわゆる「である体」)とし、常用漢字、現代仮名遣いを用いる。代名詞、接
続詞、副詞、助動詞などは仮名書きとする。

例) この、それら、および、かつ、また、ならびに、しかし、すなわち、たとえば、ただし、とおりに、したがって、ま
すます、ほとんど、まれに、おそらく、きわめて、かなり、なるべく、すでに、なお、おいて、ように、しやすい、
できる、しうる

句読点にはコンマ(,)とマル(。)を使用する。

段落の始めは1字あけ、行頭が句読点または括弧(閉じる)で始まらないように、また行末が括弧(開く)で終わらな
いように注意する。

3) 用語・単位等

学術用語は「文部省 学術用語集 歯学編（増訂版）」および各学会制定の用語を使用する。数字はアラビア数字（算用数字）を用いる。ただし、数字を含む名詞などは漢字とする。

例) 十二指腸, 二次元, 第一大臼歯

単位は国際単位系(Système International d'Unités, SI 単位系)を使用する。

例) 長さ	nm, μm , mm, cm, m, km
面積	nm^2 , cm^2 , m^2
体積	μl , ml, dl, l, m^3
質量	μg , mg, g, kg
	μmol , mmol, mol
濃度, 割合	%
	mg/ml, mg/dl, g/dl, g/l
	μM , mM, M
	N, meq/l
	pH
密度	g/ml
	g/cm^3
時間	h, min, sec, msec
温度	$^{\circ}\text{C}$, K
熱量	cal, kcal, kcal/h/ m^2
	J, kgf/ cm^2
力	N, μdyn , Mdyn
圧力	bar, mbar, dyn/cm^2 , kg/cm^2 , cmH ₂ O, mmHg
	atm, Pa, MPa
仕事	erg, J, kJ, kJm
電気, 磁気	μV , mV, V, kV, MV
	μW , mW, W, kW, MW
	μA , mA, A, kA
	μF , mF, F, m Ω , Ω , k Ω , M Ω
	mC, C
	μH , mH, H
周波数	Hz, kHz
放射線量, 総量当量	Sv(旧単位では rem)
	Gy(旧単位では rad)
	C/kg(旧単位では R)
放射能	Bq(旧単位では Ci)
光	lm, lx, Cd
音	Hz, dB
イオン価	原子団の右肩に $+$, $2+$, $3+$, $-$, $2-$, $3-$
分子量	-kDa(数字のつぎにハイフオンをつける)
糖類, アミノ酸等の構造系統	D, L(スモールキャピタル)

外国語の人名は姓と名の第1文字を大文字で記す。

国名および地名は本文中では原則としてカタカナ, 文献欄では原綴のままとする。外国語の書名は日本語に訳さず, 原綴のままとする。

普通名詞を原綴のまま使用する場合には英語およびフランス語は小文字で, ドイツ語およびラテン語(2語以上で術語を構成している場合は第1語)は第1文字を大文字で記す。なお, 原則として文頭の第1文字は大文字とする。

7. 謝辞および学会発表

各種助成金等の営利を目的としない資金援助、技術的・物的援助、著者には含まれない一般的指導者・協力者の氏名・所属機関名などを記載する。氏名を載せる場合は本人にその旨の了承を得ておくこと。

論文の内容を既に発表している学会等を記載する場合は学会名、開催日の順に記載する。

例) 本研究の一部は平成〇〇年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(A)(課題番号〇〇-〇〇〇〇)の助成を受けた。

8. 文献

文献は本文中の引用箇所(右肩上付き)で引用番号を付け、引用順に末尾に所定の形式で記載する。複数の文献をまとめて同一箇所に引用する場合は、年代の古い順に記載する。やむを得ず、学会発表の抄録などを引用する場合は末尾に(抄録)、発行前の雑誌論文を引用する場合は(印刷中)、また英文の場合には(in press)、原著を見ることができないため他の著作から引用した場合は(から引用)と明記する。なお personal communication は文献として引用しないこと。

雑誌

著者(発行年)表題. 掲載誌 巻, ページ.

- 1) 姜 宣, 翁 文鴻, 本吉 満, 川崎一也, 山下道也, 納村晋吉(1993) Wits appraisal と ANB の相関について — 台湾人学童における検討一. 日大歯学 67, 964-968.
- 2) Zabro RJ, Daniels TE, Greenspan JS (1993) Oral traumatic granuloma: Characterization of the cellular infiltrate. Oral Surg Oral Med Oral Pathol 75, 723-727.

単行書

著者(発行年)書名. 巻, 版, 出版社, 出版地, ページ.

分担執筆者(発行年)分担執筆表題. 書名. 巻, 版, 編者または監修者, 出版社, 出版地, ページ.

- 1) 矢田純一(1997) 医系免疫学. 改訂5版, 中外医学社, 東京, 236-263.
- 2) 伊藤公一(1997) 強電解酸性水の歯周病治療への応用. 強電解酸性水の歯科臨床. 芝 燁彦, 村井正大, 天笠光雄編, クインテッセンス出版, 東京, 120-129.
- 3) Clark WG, Brater DC, Johnson AR (1992) Goth's medical pharmacology. 13th ed, Mosby, St Louis, 584-591.
- 4) Kaugars G (1991) Benign fibro-osseous lesions. In Oral & Maxillofacial Radiology. Miles DA, Kaugars GE, Van Dis M, Lovas JGL eds, Saunders, Philadelphia, 125-153.

翻訳書

原著者(原綴りで)(原書の出版年)原書名 巻, 原書の版, 原書の出版社, 原書の出版地:

翻訳者名 訳(出版年) 翻訳書名 翻訳書の巻または版. 翻訳書の出版社, 出版地, ページ.

- 1) White GE (1993) Osseointegrated dental technology. Quintessence, London: 前田芳信訳(1995) ホワイ
トのインプラント上部構造. クインテッセンス出版, 東京, 47-60.

9. 図(写真)および表

図(写真)および表は本文と別にし、図の場合は下方に、表の場合は上方にそれぞれ図表番号(例:第1図, 第1表)と表題を付記し、別に説明文を作成する。なお、本文の欄外に図(写真)または表の挿入位置を朱書きする。

図(写真)および表はそのまま製版できるように鮮明なものを用意し、縮小率を指定する。カラー写真を白黒で再現した場合画質が低下することがある。また、デジタル写真をデータから製版する場合には、画素数により画質が低下することがある。

図中に挿入する文字などは縮刷後も判読できる大きさに記入し、明度によっては白抜きにする等判読できるよう注意する。

網掛けは30%以上を使用し、複数の網掛けについては20%以上の差をつける。

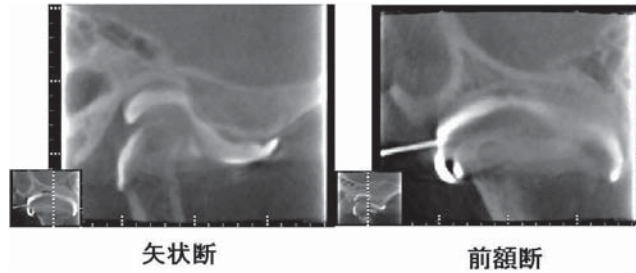
顕微鏡写真および被写体の大きさを明示する必要がある場合はスケールを写真に入れる。

個人の顔写真を掲載する場合は人物が特定できないよう配慮する。

表中で用いた略語、検定法などは欄外に付記する。

写真は裏面に天地と著者名、図表番号を記入し、台紙に貼る。

例)



第2図 上下関節腔単純造影 Ortho-CT 像(正常例)
矢状断と前額断を示す。矢状断で、関節円板の形態は biconcave で転位は認められない。前額断で、内外側転位は認められない。

10. ファイル作成上の注意

段落の始めは全角1文字分のスペースを空け、段落の最後には改行記号を入力する。

英字・数字(英文中の「,」「.」を含む)はすべて半角、漢字・仮名・句読点は全角で入力する。

本文中の数字と単位記号(「°C」「%」は除く)の間は半角分のスペースを空ける。

括弧は中に入る文字が日本語の場合には全角とし、英字・数字が入る場合や、レイアウト上全角では間が空きすぎる場合は半角とする。その際、括弧の前後の文字との間隔が詰まりすぎる場合は、半角スペースを入れて調節する。

長音符号・ダッシュ・ハイフン・マイナス記号、×(かける)とX(エックス)、O(オー)と0(ゼロ)、I(ローマ数字)とI(iの大文字)、1(数字)とl(エル)は明確に区別する。

図表データを添付する場合は、作成に際して用いたソフト名およびバージョンを記載する。

提出する電子媒体(CD等)には、著者名、所属、ファイル名を明記する。

ファイルを分割して作成した場合は原稿の記載順に、ファイル名に連番を付ける。

付録 学術雑誌略記例

誌名(略記)

DE(DE)

愛知学院大学歯学会誌(愛知学院大歯会誌)

岩手医科大学歯学雑誌(岩手医大歯誌)

奥羽大学歯学誌(奥羽大歯誌)

大阪大学歯学雑誌(大阪大歯誌)

岡山歯学会雑誌(岡山歯会誌)

核医学(核医)

顎顔面補綴(顎顔面補綴)

鹿児島大学歯学部紀要(鹿児島大歯紀)

神奈川歯学(神奈川歯学)

岐阜歯科学会雑誌(岐阜歯会誌)

九州歯科学会雑誌(九州歯会誌)

近畿東海矯正歯科学会雑誌(近畿東海矯正歯会誌)

口腔衛生学会雑誌(口腔衛会誌)

口腔解剖研究(口腔解剖研)

口腔病学会雑誌(口腔病会誌)

歯科医学(歯科医)

歯科学報(歯科学報)

歯科基礎医学会雑誌(歯基礎医会誌)

歯科材料・器械(歯科材料・器械)

歯科放射線(歯放線)

歯科薬物療法(歯薬物療)

歯学(歯学)

滋賀歯学(滋賀歯学)

四国歯学会雑誌(四国歯会誌)

耳鼻咽喉科展望(耳鼻展望)

耳鼻と臨床(耳鼻と臨)

障害者歯科(障害者歯)

小児歯科学雑誌(小児歯誌)

昭和歯学会雑誌(昭和歯会誌)

生化学(生化学)

接着歯学(接着歯学)

超音波医学(超音波医)

鶴見歯学(鶴見歯学)

東京都歯科医師会雑誌(東京歯医師会誌)

新潟歯学会雑誌(新潟歯会誌)

日大口腔科学(日大口腔科学)

日大歯学(日大歯学)

日本大学歯学部紀要(日大歯紀)

日本医学放射線学会雑誌(日本医放会誌)

日本顎関節学会雑誌(日顎関節会誌)

日本顎咬合学会誌(日顎咬合会誌)

日本顎変形症学会雑誌(日顎変形会誌)

日本画像医学雑誌(日画像医誌)

日本矯正歯科学会雑誌(日矯歯会誌)

日本口腔インプラント学会誌(日口腔インプラント会誌)

日本口腔科学会雑誌(日口腔科会誌)
日本口腔外科学会雑誌(日口腔外会誌)
日本口腔診断学会雑誌(日口腔診断会誌)
日本口腔腫瘍学会誌(日口腔腫瘍会誌)
日本細菌学雑誌(日細菌誌)
日本歯科医学会誌(日歯医会誌)
日本歯科医学教育学会雑誌(日歯医教会誌)
日本歯科医師会雑誌(日歯医師会誌)
日本歯科医史学会々誌(日歯医史会誌)
日本歯科医療管理学会雑誌(日歯医療管理会誌)
日本歯科心身医学会雑誌(日歯心身医会誌)
日本歯科保存学雑誌(日歯保存誌)
日本歯科麻醉学会雑誌(日歯麻会誌)
日本歯理工学会 回学術講演会講演集(日歯理工会 回講集)
日本歯周病学会誌(日歯周病会誌)
日本生理学雑誌(日生理誌)
日本大学歯技会雑誌(日大歯技会誌)
日本法医学雑誌(日法医誌)
日本補綴歯科学会雑誌(日補綴歯会誌)
日本補綴歯科学会雑誌第 回学術大会論文集(補綴誌, 巻 回特別号)
日本薬理学雑誌(日薬理誌)
犯罪学雑誌(犯罪誌)
東日本歯学雑誌(東日本歯誌)
広島大学歯学雑誌(広島大歯誌)
福岡歯科大学学会雑誌(福岡歯大会誌)
北海道歯学雑誌(北海道歯誌)
松本歯学(松本歯学)
みちのく歯学会雑誌(みちのく歯会誌)
明海大学歯学雑誌(明海大歯誌)
横浜顎顔面口腔外科学会誌(横浜顎顔面口外会誌)
老年歯科医学(老年歯医)